

科目名	医学史							年度	2025
英語科目名	Medical History							学期	後期
学科・学年	柔道整復科　1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	宮本功三	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 柔道整復術とは、骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷といった運動機能に生じた損傷を早期発見し、施術により治癒に導くことをいう。薬や観血的療法に頼らず、手技を駆使し自然治癒力を高めて治癒に導く特有の施術である。柔道整復術の始まりは約1300年前まで遡る歴史の長いものであり、この柔道整復術が現在に至るまでの経緯を理解する。									
【科目の概要】 主に予防医学の歩みについて学びます。									
【到達目標】 将来医療従事者を目指していくなかで、医学の現状と社会的な役割を理解していくことを目的としている。医療とは何か、そして柔道整復術とは何かを十分に理解することを目標にしている。柔道整復術の歴史は古く、武道、特に柔術から発展した柔道と結びつくことで、柔道と柔道整復術を相互に関連付けをしていきながら将来医療の社会に求められる柔道整復師となるために必要な知識を理解することを目標にしている。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度等には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況等を概説するので、自分でも情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	医学の歴史について大変よく理解している	医学の歴史についてよく理解している	医学の歴史についてまあまあ理解している	医学の歴史についてあまり理解していない	医学の歴史について全く理解していない				
到達目標 B	柔道整復師の歴史について大変よく理解している	柔道整復師の歴史についてよく理解している	柔道整復師の歴史についてまあまあ理解している	柔道整復師の歴史についてあまり理解していない	柔道整復師の歴史について全く理解していない				
到達目標 C	柔道の歴史について大変よく理解している	柔道の歴史についてよく理解している	柔道の歴史についてまあまあ理解している	柔道の歴史についてあまり理解していない	柔道の歴史について全く理解していない				
到達目標 D	柔道整復術や柔道の特性や伝統的な考えを持ち、相手を敬い、礼儀に重んじた行動様式をとることができる	柔道整復術や柔道の楽しさを味わい、お互いに協力し教え合って取り組むことができる	自分の状況に合った実現可能な課題を設定し取り組むことができる	相手を尊重し敬う、お互いに協力する、礼儀に重んじた行動様式が少々欠如している	柔道整復術や柔道の特性や伝統的な考えを持ち、相手を敬い、礼儀に重んじた行動様式をとることができない				
到達目標 E	目標に関わる課題に対して適切に回答できており、かつ自分の意見が反映されている	目標に課題に対して適切な回答ができており、キーワードも用いられている	目標に関わる課題に対して適切な内容ができており、一部のキーワードも用いられている	目標にかかわる課題に対してキーワードが用いられていないが、概ねできている	目標に関わる課題において、課題に関係のない内容で行われている				
【教科書】 教科書（柔道の資料柔道整復理論-社団法人　全国柔道整復学校協会　監修-）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

